三鷹市立第五中学校　令和8年度【道徳】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	○ポートフォリオの導入により道徳評価の適正化と充実を図った。 ○物事を多面的多角的に捉えることで、他者を思いやろうとする心や規範意識を育むことができた。 ○他者との意見交換を通して、様々な考えに触れ、自分の考えを深めるような授業を展開することができた。	○人を思いやる心の育成に力を入れている。 ○毎時間視聴覚教材を活用し、登場人物の葛藤や場面の理解を助け、児童生徒が主体的に問いに向き合えるようにする。 ○道徳について「様々な考えから自分の考えを深める道徳の授業の工夫」をテーマに研究に取り組んだ成果を実践に生かし、より良い授業を展開するための工夫を行っている。 ○道徳科授業時の話し合い活動や意見交換時、ポートフォリオの記入等においては、多面的、多角的に考え、取り組むことができている。	○評価にポートフォリオを導入し、評価の整合性を高める工夫に取り組む。 ○授業中に自分の意見を述べ、他者の意見を聞く活動を取り入れ、お互いの意見の尊重から、他者を思いやる情操を育てる。 ○規範意識と社会性を養う指導のため、共通する指導用資料を作成し、授業での目標を達成するための中心発問を事前に検討する。
第2学年	○ポートフォリオの導入により道徳評価の適正化と充実を図った。 ○発言・話し合い活動・タブレットの使用を通して、自分の意見を述べたり、他者の意見を聞いたりする活動の活発化を図った。 ○行事や時世の流れに併せて生徒の実態に見合った計画、立案に取り組んだ。 ○本時のねらいなどを分かりやすく板書してねらいを明確化した。	○人を思いやる心の育成に力を入れている。 ○規範意識や社会性の育成に向けて、教職員が共通理解のもと一貫した指導を行う。 ○ボランティアや奉仕活動体験を通した人間性豊かな生徒の育成を目指している。 ○道徳について「様々な考えから自分の考えを深める道徳の授業の工夫」をテーマに研究に取り組んだ成果を実践に生かし、より良い授業を展開するための工夫を行っている。	○道徳評価の適正化と充実 具体的には評価にポートフォリオを導入し、評価の整合性を高める工夫に取り組む。 ○活動内容の活発化 授業中、自分の考えを表現したり他者の考えに触れたりする活動を取り入れ、自らの思いや考えを言語化する力の育成を図る。 具体的には、班ごとに発表するホワイトボードやICTによる情報共有を積極的に行い、話し合い活動をさらに充実・活発化させる。
第3学年	○ポートフォリオを利用し、評価の整合性を高めた。 ○チャイム前着席・開始前の授業準備の実践で規範意識を養うことができた。 ○話し合い活動を通して、多面的・多角的に考え、判断する能力の育成を図ることができた。	○人を思いやる心の育成に力を入れている。 ○規範意識と社会性を養う指導に、教員が足並みを揃えて取り組んでいる。 ○道徳授業において少人数での話し合い活動やクラス全体での意見の共有を通して、自己の日常を振り返り、より良い生活習慣を実践していくための方策を工夫している。 ○道徳授業の話し合い活動や、意見の発表時には多面的・多角的に考え、判断する能力や道徳的心情を発揮している。	○評価にポートフォリオを導入し、評価の整合性を高める工夫に取り組む。 ○授業中、自分の意見を述べ、他者の意見を聞く活動を取り入れ、お互いの意見の尊重から、他者を思いやる情操を育てる。 ○諸事象について他者の考え方に触れ、自律的に思考する一助とするため、学年の教員全員で授業を実施し、物事の見方を一面的ではなく多面的・多角的に発展させていく。 ○内容項目の手がかりとなる言葉をテーマとして示し、生徒が体験してきたことを振り返り、自ら考え、積極的に意見を出していけるよう板書方法を工夫する。